

見る！感じる！想像する！ 縄文

亀ヶ岡石器時代遺跡・田小屋野貝塚を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が遂に世界文化遺産に登録されました。人々を引き付ける縄文の魅力はどこにあるのでしょうか？



A 頭部の無い土偶(亀ヶ岡遺跡出土) B ベンケイガイ(田小屋野貝塚出土) C 土器(亀ヶ岡遺跡出土) D 人骨足部(田小屋野貝塚出土)

北海道・北東北の縄文遺跡群を構成する資産の時代年表

定住の開始		定住の発展		定住の成熟		弥生時代 稲作のはじまり
居住地の形成	集落の成立	集落施設の多様化	拠点集落の出現	共同の祭祀場と墓地の進出	祭祀場と墓地の分離	
大平山元遺跡(外ヶ浜町)	垣ノ島遺跡(函館市)	田小屋野貝塚 北黄金貝塚(伊達市) 二ツ森貝塚(七戸町)	御所野遺跡(一戸町) 大船遺跡(函館市) 三内丸山遺跡(青森市)	大湯環状列石(鹿角市) 伊勢堂岱遺跡(北秋田市) 小牧野遺跡(青森市) 入江貝塚(洞爺湖町)	亀ヶ岡石器時代遺跡 漆塗土器(上)、藍胎漆器(下) (亀ヶ岡遺跡出土)	
▲紀元前13,000年	▲紀元前7,000年	▲紀元前5,000年	▲紀元前3,000年	▲紀元前2,000年	▲紀元前1,500年	
						▲紀元前400年▲

最近、目にすることが多い「持続可能な開発目標(SDGs)」ですが、正に縄文時代はこの原点ではないかと感じさせられます。

縄文時代は自然環境をうまく利用し乱獲することなく、持続可能な生活を送っていたと考えられます。

また、縄文時代には、クリ・ドングリ・クルミ・トチノミといった木々を集落のそばに植えて育て、実を食していました。

縄文時代は、採集・漁労・狩猟により生活していました。田小屋野貝塚にもその痕跡があります。貝塚からはヤマトシジミなどの貝類をはじめ、フナ・サバ、カモ・マガン、ノウサギ・カモシカなどの骨も出土し、当時のような獲物を食していたのか伺い知ることができません。

気が遠くなるほどの時！一万年以上も続いた縄文



知名度は低いが凄 い！田小屋野貝塚



亀ヶ岡遺跡から分 かる死者への祈り



現在発掘調査を 進めています



謎多き縄文の世界

でも同様です。なぜなの
か、何なのかはつきりと
した答えはありません。
謎は深まるばかりです。

それでも、出土した遺
物からはさまざまな可能
性を想像することができ
ます。田小屋野貝塚から
出土した人骨のように、
これまでとは異なる説に
つながる発見もあります。

そんな正解が分からな
いところや新たな事実が
出てくる可能性を秘めて
いるところが、人々を引
き付ける縄文の魅力なの
だと思えます。

皆さんも、この機会に
自分なりの縄文を想像し
てみてはいかがでしょう
か。

貝塚は単に貝をゴミと

して捨ててきた場所と考
えられてきました。それ
が、9年前の発掘調査で、
人骨が出土したことで、
貝に限らず「命」を終え
たモノをあの世界に送る場
所と推測できるようにな
ったのです。命あるモノ
を丁寧にあの世へ送る
ことで、豊作・繁栄を願っ
たのではないかと思考を
巡らせることもできます。

田小屋野貝塚から出土
したベンケイガイは北海
道南部の遺跡でも同様の
ものが出土し、田小屋野
貝塚からは北海道産の黒
曜石も見つかっています。
すでに縄文時代の頃から
津軽海峡を越えて北海道
と交流があったことが分
かります。

現代のような交通手段
が無い時代にどのように
して行き来したのかロマ
ンを感じずにはいられま
せん。

100基以上の墓は発

見されていますが、建物
の跡が1基しか見つかっ
ていない亀ヶ岡石器時代
遺跡。もしかすると、周
辺にいくつかの集落があ
り、その共同墓地として
利用されていたのではな
いかと想像できます。墓
からは緑色凝灰岩製の
ビーズがばらまかれた跡
やベンガラ製の赤い顔料も
発見されていることから、
当時すでに、死者を悼み、
丁寧に埋葬する習慣を
持っていたと考えられま
す。



緑色凝灰岩製ビーズ(亀ヶ岡遺跡出土)

教育委員会では7月1

日から亀ヶ岡石器時代遺
跡(雷電宮南側)におい
て発掘調査を進めていま
す。縄文時代晩期末から
弥生時代前期のものと思
われる土器や石器の破片
が見つかっています。も
しかすると、大きな発見
があるかもしれません。
期待が高まります。

秋には、現地説明会を
予定していますので、興
味のある方は乞うご期待
を。

縄文に関しては解明さ

れていない部分が多くあ
ります。

土偶の片足や頭部が欠
けて無いのは、体の悪い
箇所をわざと壊して病氣
やケガの回復を祈ったと
いう説をはじめ諸説あり
ます。しかし、なぜ作られ
どのように使われていた
のか本当のところは分か
りません。女性をモチー
フにした土偶が多いこと、
遮光器土偶のゴウゲルの
ように見える部分につい



発掘調査の様子(上)、出土した土器片(下)

11月28日(日)までの土日祝日
は、縄文遺跡案内所に行く
と、ボランティアガイドが
丁寧に縄文の魅力を紹介
してくれます!詳しくは下
のQRコードから市ホーム
ページをご覧ください。

